

春の講演会

西洋音楽の ルーツとしての カトリック聖歌

入場
無料

予約
不要

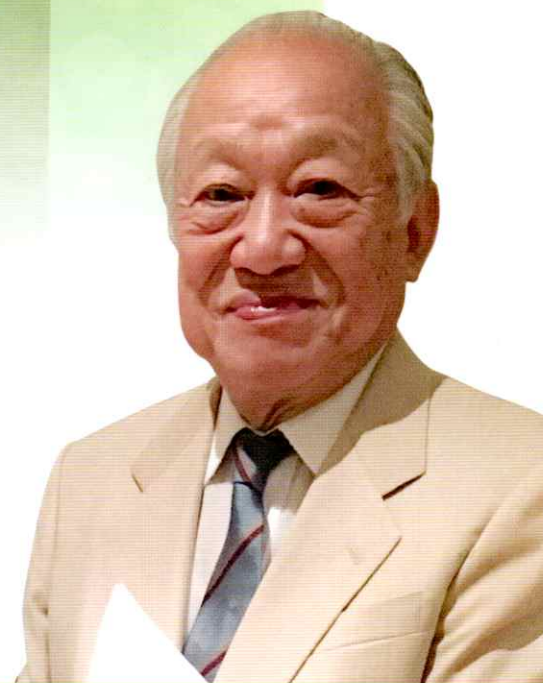
『キリスト教音楽の歴史』の著者で
日本を代表する音楽学者

金澤正剛 氏

(国際基督教大学名誉教授、日本音楽学会会長ほか歴任)

KANAZAWA Masakata

1934年東京生まれ。1966年にハーヴァード大学大学院博士課程（音楽学）を終了。その後、同大学ルネサンス研究所（フィレンツェ）の所員、複数の大学の非常勤講師、米国の大学の客員教授などを勤め、1982年に国際基督教大学教授、兼同大学宗教音楽センター所長、2004年に名誉教授。現在日本リユート協会、日本イタリア古楽協会、日本ヘンデル協会等の会長。著書『モンテカシノ音楽手稿譜第871号』（1978、共著、英文）で1980年度 ASCAP 賞を、『古楽のすすめ』で1998年日本ミュージック・ペン・クラブ大賞を受賞。他に『中世音楽の精神史』、『キリスト教音楽の歴史』などの著書がある。



2019年 **5月17日** (金)

17:30—19:00〈17:00開場〉

京都ノートルダム女子大学
NDホール

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地

TEL.075-706-3654 (火～金 / 8:45～17:30)

●京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」①番出口より徒歩7分

●市バス4号系統「野々神町」下車すぐ。もしくは「北園町」下車 北へ徒歩5分



主催／京都ノートルダム女子大学 カトリック教育センター

後援／京都市 京都新聞

<https://www.notredame.ac.jp/>